

協 社 たてやま

秋号

R7.9.20 発行 No.168



この広報紙は共同募金の
助成金で発行しています。



館山市なのはなシニア連合会 安房地区スポーツ大会出場

6月26日に鴨川市総合運動場にて、安房地区スポーツ大会が行われました。

館山市なのはなシニア連合会に所属しており、それぞれの地区で趣味の運動に取り組まれている会員が数名選出され、出場いたしました。大会の競技種目は2種目で、グラウンドゴルフとベタンクです。

例年の猛暑による熱中症対策として、今年度は1か月早い開催となりました。梅雨の時期でしたが天候にも恵まれ、大変暑い日でした。休憩、水分補給も適度に行い、無事にケガもなく、競技を終えることができました。

他市町の会員との対戦は新鮮で、みなさん時に真剣に、時には和気あいあいとプレーされました。

大会の上位入賞者は、県大会に出場できます。館山市からは2名出場予定です。ぜひ、県大会でも日頃の練習の成果を発揮し、活躍していただきたいと思います。

このように、体を動かすことは健康増進に役立ちます。

いつまでも健康に過ごすためには日々の積み重ねが重要です。また、競技に参加するだけでなく、見学や興味を持つことも同様に大切です。新しい刺激を得ることで、より豊かな日常を送れるのではないのでしょうか。これからもみなさん、健康第一で過ごしてほしいと感じます。

興味をお持ちの方、なのはなシニア連合会入会希望の方は社会福祉協議会まで、ぜひご連絡ください！

編集・発行／館山市社会福祉協議会
館山市北条402 市役所4号館内

TEL.23-5068 FAX.22-8805

e-mail madoguchi@fukushi-tateyama.or.jp

URL <http://www.fukushi-tateyama.or.jp>

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

共同募金は、社会福祉事業の推進に向けて全国一斉に行なわれる募金運動であり、「赤い羽根共同募金」と親しまれています。共同募金は、使い道や集める額（目標額）を定めることが義務付けられている募金です。

目標額の決め方は、県内の社会福祉施設や障害者団体、ボランティア団体等から活動に必要なお金を事前にとりまとめ、使途計画を立ててから行うもので、「計画募金」と呼ばれています。そのため、使途が明確であるという特徴があります。

館山市では計画された助成予定総額から一世帯当たりの目安である500円や、市全体での目標額が割り出されています。赤い羽根募金は千葉県共同募金会の計画に沿って、来年度前半と、緊急性の高いものは本年度後半に助成されます。

なお、12月に実施されます歳末たすけあい募金につきましては、年内に市内社会福祉施設入所者や、生活困窮世帯等にお届けする予定となっております。

【令和7年度 館山市の目標額】

赤い羽根共同募金 9,470,000円

（1世帯当たりの目安500円）

歳末たすけあい募金 5,130,000円

（1世帯当たりの目安300円）

【令和7年度 千葉県の目標額】

千葉県の目標額 580,000,000円

＜内 訳＞

赤い羽根共同募金 370,000,000円

歳末たすけあい募金 210,000,000円

本年度の共同募金目標額は、助成申請金額と昨年度の募金実績等から、千葉県共同募金会により算出されています。

共同募金の役割や使いみちなどは、下記ホームページでご覧いただけます。

- ・中央共同募金会
<http://www.akaihane.or.jp>
- ・千葉県共同募金会
<https://akaihane-chiba.jp/>

～募金方法は～

○ご家庭で○

【戸別募金】 町内会（区）長さんにご協力をいただき、各家庭へ、戸別にお願ひに伺います。

【大口募金】 民生委員さん、町内会（区）長さん、社会福祉協議会役員が商店・企業・個人の賛助者を訪問してご協力をお願いします。

○職場で○

【職域団体募金】 一般企業・団体・官公庁などにお勤めの方に、ご協力をお願いします。

○学校で○

【学校募金】 子どもたちの福祉の心を育む目的で各学校に、ご協力をお願いします。

令和6年度 共同募金 募金額 9,377,119円

令和6年度に館山市に寄せられた募金は、千葉県共同募金会に集められ、令和7年度の「共同募金地域助成額」として館山市社会福祉協議会に配分されます。

ご協力ありがとうございました。

令和7年度 共同募金地域助成額 7,364,000円

＜内訳＞

福祉相談事業	164,000円
社協支部事業	1,118,000円
地域福祉事業	3,056,000円
ボランティア活動事業	451,000円
民生委員業務受託事業	761,000円
老人クラブ業務受託事業	50,000円
福祉団体助成事業	900,000円
応急援護事業	50,000円
日常生活用具整備事業	516,000円
日常生活用具給付事業	137,000円
歳末助け合い事業	154,000円
民生資金貸付事業	7,000円
合 計	7,364,000円



地域の福祉のために募金にご協力ください



千葉県共同募金会
館山市支会長
森 正一

赤い羽根をシンボルとした共同募金運動が、10月1日から12月31日までの期間、地域福祉の向上をめざして全国一斉に行われます。

この運動は、第二次世界大戦後、人々の生活が苦しい時代にみんなで助け合っていこうと、昭和22年（1947年）に始まり、今回で79回目を迎えました。

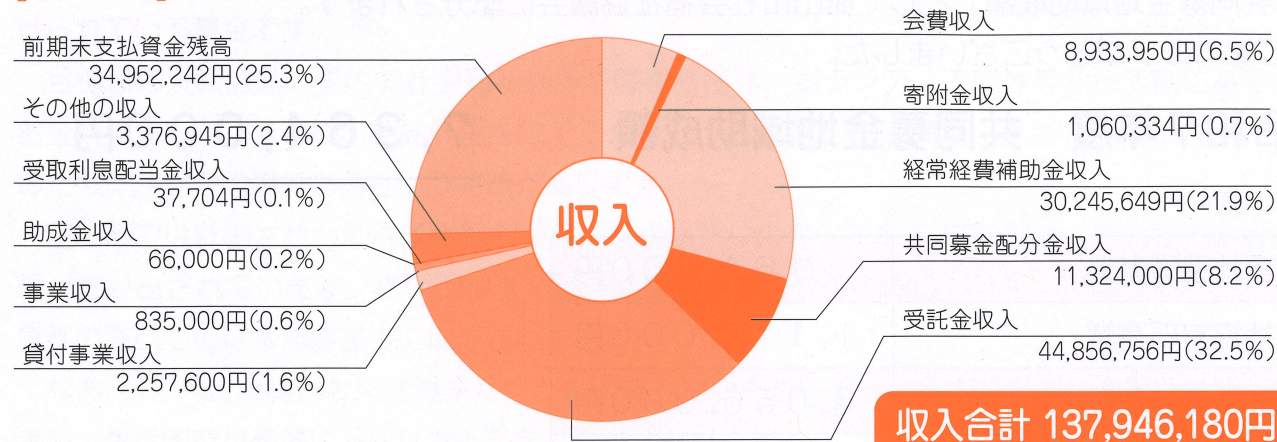
集まった募金は、民間福祉団体やボランティアによる地域福祉活動を支援する財源として助成され、福祉事業の発展に役立てられています。

今年も、これまで同様、みなさまの温かいお気持ちにより支えられてきた「赤い羽根共同募金運動」にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

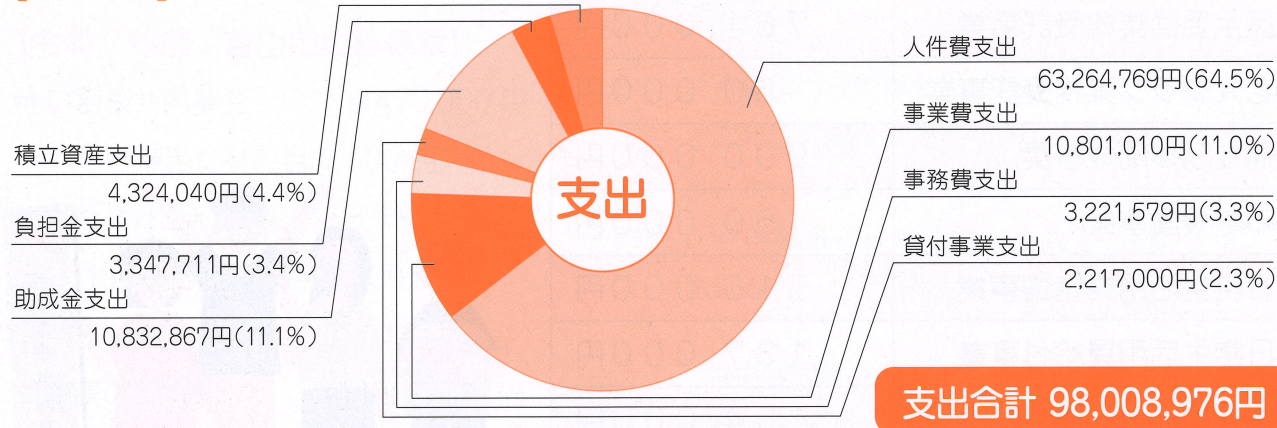
令和6年度 決算報告

繰越金合計.....39,937,204 円
 法人運営事業繰越金..... 26,468,997 円
 地域福祉事業繰越金..... 13,468,207 円

【収入】.....



【支出】.....



令和6年度 事業報告

❖地域での福祉活動

市内 15 支部での食事サービス・友愛訪問・地域ボランティア研修・ふれあいいきいきサロンへの支援などを実施。地域における支え合いの体制づくりを推進。地域での生活の困りごとを、丸ごと支援窓口・包括的相談支援事業として相談を受け、各関係機関と連携し、相談対応と共にニーズの把握を実施。社協に登録している福祉ボランティアの活動支援などを実施。

❖在宅福祉機器の貸出・給付

車椅子の貸出 (58 件)・福祉カーの貸出 (42 件)・歩行器の貸出 (1 件)・高齢者・障害者疑似体験セットの貸出 (4 件)・歩行補助杖の給付 (35 件)・シルバーカーの給付 (1 件)

❖福祉相談

心配ごと相談 (52 回実施、相談 214 件)

❖福祉資金貸付

低所得世帯などに対し資金を貸付。
 民生資金等の貸付 (14 件)
 高額療養費の貸付 (3 件)

❖生活困窮者自立支援事業

生活保護に至る前の生活困窮者の相談・支援を実施。相談件数 (74 件)

❖日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう相談・支援を実施。相談件数 (56 件)

❖社会福祉大会

福祉功労者の表彰や社会福祉発展のために開催。

❖その他

広報「社協たてやま」発行 (年 4 回、全戸配布)
 共同募金運動への協力。
 館山市民生委員児童委員協議会業務受託。
 館山市なのはなシニア連合会支援。

ご寄附のお礼

(受付順・敬称略)

温かいお気持ちをありがとうございました。
 みなさまからの寄附金は、地域福祉活動に活用させていただきます。古切手や使用済みテレホンカードは、「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」へ送り、バザーや海外旅行のおみやげとして販売し、福祉施設等の活動資金となります。

寄 附 (社会福祉振興基金)

R7.4.26~R7.7.25

匿名 1 件 94,646円

善意の寄附

R7.4.26~R7.7.25

▼古切手.....38 件

庄もとデリバリー
 早川電工 (株)
 石井久美子
 竹林一城
 加藤建設 (株)
 芝崎さくら会
 居酒屋ひろみ
 市税務課
 船田恭子
 榎橋明美

市社会福祉課
 佐藤重義
 市市民課
 館山信用金庫
 上真倉区友和会
 (有) 森板金塗装
 山根秀人
 庄司誠
 山口晴之
 うさぎの会ぬくもり食堂
 房州リサイクル
 国立館山海上技術学校
 (株) ユタカ設備工業所
 碓井弘美
 宮地佐知子
 オリーブ薬局
 羽山社会保険労務士事務所
 館山市地域包括支援センターいちご
 (株) 嶋屋
 日向萌衣

日向亜美
 匿名 7 件

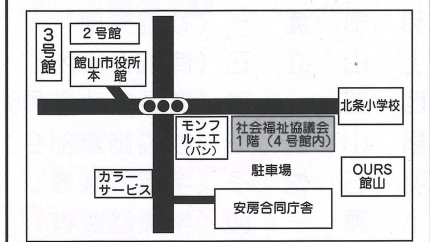
▼使用済みテレホンカード 1 件

佐藤重義

※古切手及び使用済みテレホンカードのみお預かりしています。

【受付・お問合せ】

館山市社会福祉協議会事務局
 ☎23-5068 FAX22-8805
 館山市北条402 (市役所4号館内)



第 39 回 フードドライブの報告とお礼

フードドライブとは、家庭で余っている食品を募集し「フードバンクちば」や「フードバンク安房」を通じて生活にお困りの方やこども食堂などに食べ物を提供する活動です。余剰食品を、必要としている人に届けることにより、食品ロスの削減にもつながります。館山市社会福祉協議会も令和7年5月19日～6月30日に行われた「第 39 回フードドライブ」に協力しました。皆様からたくさんのご提供を頂き、缶詰などの保存食品やインスタント食品、調味料、飲料などが **241 点** 集まりました。またフードドライブの期間以外にも食品をご提供いただき心より感謝申し上げます。

食品提供

日本同盟基督教団館山教会・西川隆・館山信用金庫本店・JR 東日本館山駅・石井紋子・匿名 9 件 (受付順・敬称略)



～第 40 回フードドライブのおしらせ～

令和 7 年 9 月 16 日 (火) ～
 10 月 31 日 (金)

第 40 回フードドライブを実施致しますので引き続きご協力お願い致します。



任期満了に伴い役員・評議員が改選されました

中間会長就任・眞汐副会長再任・竹山副会長就任

社会福祉協議会の運営や事業は、みなさまの地域や団体の代表である役員・評議員によって決定し、進められています。この度任期満了に伴う役員・評議員の改選が行われました。市民のみなさまや関係機関と連携して地域福祉活動や在宅福祉サービスなどを行います。今後ともよろしくお願いいたします。

役員

▼任期

令和7年6月13日から

令和9年6月に開く定時評議員会まで

会長

中間 正一郎（民生委員）

副会長

眞 汐 眞 一（町内会）

竹 山 多津江（民生委員）

理事

庄 司 武 雄（町内会）

和 田 健 一（社協支部）

上 山 立 巳（商工会議所）

西 脇 稔（関係行政職員）

畠 山 正 昭（社協施設部会）

明 石 悦 子（学識経験者）

小 澤 一 典（学識経験者）

監事

渡 辺 俊 幸（学識経験者）

長 井 勲之介（学識経験者）

評議員

▼任期

令和7年6月13日から

令和11年6月に開く定時評議員会まで

富 宮 昌 和（町内会）
小 倉 俊 郎（町内会）
三井原 久 美（町内会）
田 村 正 榮（町内会）
石 川 基 博（町内会）
篠 塚 和 則（町内会）
辰 野 弘 征（婦人・青年団体）
西 川 隆（民生委員）
望 月 よし子（民生委員）
岡 田 賢太郎（民生委員）
市 川 明 美（民生委員）
北 見 照 男（民生委員）
鈴 木 貴 弘（青少年相談員）
飯 田 みち子（保健推進員）
鈴 木 宏 子（ボランティア）
川 崎 昭 久（社協民生部会）
佐々木 小次郎（社協民生部会）
石 井 初 江（社協施設部会）
三 浦 太 郎（関係行政職員）
角 田 泰 彦（保健衛生団体）
遠 藤 昭 男（学識経験者）

支部名	支部長
館 山	長 井 勲之介
三 町	小 林 常 雄
三 軒 町	大 西 和 子
六 軒 町	山 田 忠 義
長 須 賀	鈴 木 彰
八 幡	日 向 錦次郎
上 高 湊	富 宮 昌 和
那 古	小 柴 信 弘
船 形	竹 山 多津江
西 岬	三井原 久 美
神 戸	廣 井 幹 男
富 崎	勢 見 勝 美
豊 房 神 余	田 村 正 榮
館 野	小野塚 計 一
九 重	小 柴 正 典

誰もが安心して暮らすために

社会福祉協議会では市内15カ所に支部を設置。そこに福祉のまちづくりを推進することを任務とした支部長を置き、見守り活動や友愛訪問、食事サービス、福祉研究会など地域のたすけあい活動、福祉活動を行っています。

また、高齢者など誰もが気軽に通える「ふれあいいきいきサロン」を積極的に進めるなど、将来の地域づくりに向けた取り組みも行っています。

各地区の支部長は左記の方々です。社会福祉に関するご相談やご質問はお気軽にどうぞ。

※各地区の地域福祉委員については、活動休止中。

館山市社会福祉大会のお知らせ

本大会は福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝を表すために開催いたします。また、記念講演もごさいます。みなさまのご来場をお待ちしております。入場は無料です。

日 時：令和7年11月27日（木）

開 演：午後1時30分～

（受付 午後1時00分～）

会 場：南総文化ホール 小ホール

大会式典

- 福祉功労者表彰及び感謝状贈呈
- 記念講演

社協のひろば

案内

心配ごと相談

財産・家族・介護など、心配ごとや悩みごとのある市民のみなさんからの、相談をお受けしています。

・一般相談／当会相談担当職員による相談

日時：毎週火曜日（休日の場合は翌開会日）

10:00～12:00

13:00～15:00

（予約不要 当日受付順に相談）

電話（☎ 24-0294）での相談もお受けしています。

・専門相談／弁護士による専門相談

日時：毎月第1・第3火曜日（休日の場合は翌開会日）

13:00～15:00（1日2件）

（予約必要 まずは一般相談を受けてください）

貸出

高齢者疑似体験 セットの貸出

疑似体験セットを貸出しております。疑似体験セットとは、加齢などによる肉体的機能低下や心理的变化を擬似的に体験するものです。

・片マヒ体験セット

脳の疾患や事故などで体の半分がマヒしてしまった場合の体験セット

・高齢者疑似体験セット

高齢者の体の変化やこころの変化を学習する体験セット

・貸出対象／市内の学校での福祉授業や総合学習（小学校5年生以上が対象）、各地区で実施する介護教室などの学習会・ボランティア団体や福祉団体など

・貸出期間／原則1週間以内

・費用／無料

・申込／社会福祉協議会（☎ 23-5068）へ電話でご確認のうえお申込みください。

地域の取り組み & まるごと相談

■「やさしいまちづくり推進員養成講座」開催

6/26、館山市コミュニティセンターにて14名が参加。住民の方々だけでなく、介護支援専門員や中核地域生活支援センターの職員等、福祉の専門職の参加もありました。講師は、コミュニティネットハピネスの土屋幸己氏。講座の中では、既に地域で互助活動の取り組みを始めている方に実践事例をご発表いただきました。

2025年は団塊の世代が全員後期高齢者となる年です。高齢になっても住み慣れた場所で生活し続けるために必要なことは何か。既に話し合っている地区、話し合っていたいと考えている地区のみなさま。是非当会にお声かけ下さい。



■ヤックス移動販売

数年前から市内で始まった千葉薬品による移動販売「ヤックスらくちん便」は、現在市内7ルートを走っています。日用品だけでなく食品の品揃えも豊富で、免許返納後の高齢者も多く利用しています。

今回は「移動販売を通じた介護予防」についてご紹介します。那古の停車拠点の1つでは、近所に住む高齢男性が販売車の停車する場所の草を定期的に刈り、販売車が来ると商品を広げる手伝いをしていました。声を掛けると



「毎週来てくれることが楽しみ」と笑顔を浮かべ、一緒に来ていた妻は「これが生きがいになっているの」と夫婦2人で買い物を楽しんでいました。

移動販売は買い物が目的の取り組みですが、他者との会話を通した見守りや地区内の環境整備にも活動が広がっていました。小さな楽しみや役割を持ちながら生活を送ることは、毎日の充実感や介護予防にも繋がります。

■菌地区「菌ひだまり会」の活動がスタート

「館山市元気がでる体操教室」では、集会所や青年館に地区住民が集まり、理学療法士監修のストレッチや体操を行なうことで、介護予防や認知症予防に取り組みます。令和7年7月、菌地区で新たに活動が始まりました。計4回の立ち上げ支援では、健康課保健師による健康づくり講話、理学療法士による体操やストレッチの注意点説明、高齢者福祉課による体力測定を実施しました。

みなさんの住む地区でも、楽しく介護予防に取り組んでみませんか？



■郵便局出張相談会の予定

まるごと相談窓口では、市内の郵便局に職員が出向き「出張相談会」を実施しています。高齢者だけでなく、障害を抱えている方、子育て世代の方など、どなたでも相談可能です。お気軽にお声かけ下さい。

本年度より「グリーンファーム館山内郵便局」での出張相談会も始まりました。

館山北条郵便局	10/15(水) 9:30～11:30
布良郵便局	10/16(木) 9:30～11:30
館山大戸郵便局	11/14(金) 9:30～11:30